

八南小学校



校章の由来

校章は、校名の「八南」の漢字を縦に配置し、図案化したものである。

八南マーくん



校訓「たくましく 考え深く 思いやりのある子」

- 1872 (明 5) 市田・千両・八幡・平尾・財賀の5村を連合し、松永寺に「育英館」を開校
- 1874 (明 7) 穂原学校と改称
- 1876 (明 9) 市田学校と改称
- 1877 (明10) 八幡村分離して八幡学校を国分寺内に設置
- 1886 (明19) 八幡学校、平尾学校の分校となる
- 1892 (明25) 八幡学校を八幡尋常高等小学校と改称
- 1904 (明37) 市田学校を市田尋常高等小学校と改称
- 1907 (明40) 八幡尋常高等小学校と市田尋常高等小学校を合併し、八幡南部尋常高等小学校と改称
- 1911 (明44) 本校舎新築落成式挙行
- 1917 (大 6) 就学出席成績優等につき知事より表彰
- 1918 (大 7) 本校に実業補習学校を附設
- 1930 (昭 5) 八幡南部尋常高等小学校と改称し、愛知県八幡公民学校を併設
- 1937 (昭12) 講堂落成記念学芸会
- 1941 (昭16) 八幡村南部国民学校と改称
- 1943 (昭18) 校舎増築、豊川市立八南国民学校と改称
- 1946 (昭21) 愛知第二師範学校代用附属国民学校に指定
- 1947 (昭22) 豊川市立八南小学校と改称、学校給食開始、コア・カリキュラムの実践校として県により認定
- 1954 (昭29) 運動場拡張、学校文集「土の子」第1号発行
- 1959 (昭34) 校歌制定、南校舎移転、校庭の松を移植
- 1964 (昭39) 東京オリンピック聖火送迎
- 1966 (昭41) 開校60周年記念式、正門に松を植樹
- 1968 (昭43) 「ろろんとこだまするもの」第1号発行
- 1974 (昭49) 北校舎完工、親子テレビ設置
- 1978 (昭53) プール・体育館・体育倉庫完工
- 1980 (昭55) 北校舎増築完工
- 1983 (昭58) わんぱく山完成
- 1993 (平 5) 「八南っ子5つの約束」を全校集会で唱和するようになる
- 2011 (平23) 八南小マスコット「八南マーくん」誕生
- 2014 (平26) 校舎増改築工事(～H27)



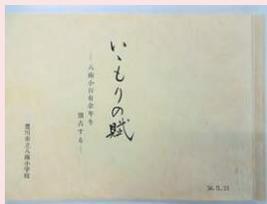
育英館(松永寺)



木造校舎の頃(T3)



講堂建築(S12)



記念誌「いもりの賦」



校舎増改築(H27)

校歌

作詞 大伴 傑人
作曲 永見 貞三

一 みどり萌ゆる野に
種々の花咲き
色鳥は小枝にささやく
飯盛の丘辺に立ちて
あわれわれらわら
よろこびあふるる
平和の樂し学園

二 白くしぶく雨
せせらぎに消ゆれば
夏虫は草間にささめく
月しらむ畑中みちを
あわれわれらわら
幸福あふるる
愛の灯の明し学園

三 青くひかる雲
秋ぞらにながれて
そよ風は梢にささやく
池の面にさざなみゆらぎ
あわれわれらわら
希望あふるる
精進の聖し学園

本校の歴史は、明治の学制発布に先立ち、明治5年に市田の松永寺内に設置された「育英館」に始まる。その後、市田尋常小学校、八幡南部尋常高等小学校と改称された。さらに先の大戦中には、八幡村南部国民学校と改称され、戦後は八南国民学校となり、児童数は昭和21年には最大の818名となった。昭和22年に現在の校名になってからの児童数は、時代とともに増減を繰り返してきた。しかし近年、豊川市民病院の校区内への移転や八幡町の大規模な宅地化の影響などから、全国的な少子化の流れの中でも児童数は増加傾向にある。

「八南小学校の歴史を学ぶ会」

講師●今泉孝之氏(元校長)
石川勝之助氏(OB)

今日は、おじいちゃんやおばあちゃんからも聞いたことのないことをたくさん聞いて、勉強になりました。太平洋戦争のことやその当時の八南小学校の様子、昔の道具のことや家での生活の様子、4年生の時「はてなん」(総合的な学習)で勉強した地域の偉人、曾田梅太郎先生のエピソードなども聞かせていただき、とてもためになりました。そして、もっと昔の八南小学校のことや戦争のことを調べてみたいくなりました。(6年児童)



「学び舎学習会」(教員対象)

講師●一ノ瀬礼三氏

八南小が愛知第二師範附属だった当時の様子や、コア・カリキュラムの具体的なお話をお聞きしました。戦後、すぐに教育研究に取り組んだ教職員の気概を感じました。